



特長生かした観光客誘致 今年は金環日食も楽しめる

五百人以上の参加が見込まれるツアーを計画するなど観光客誘致に努めている。今年も金環日食が観測できるなど、明石の強みや特長を生かしたツアー企画を各旅行社や市内ホテルなどに提案している。今後の観光戦略としては、平成三十二年に観光客数を二十年度の五百二十万人から五百五十万人へ、市内滞在時間を二十一年度の



2011年B-1グランプリで10位入賞

三時間から五時間へ増やすことを目標とした取り組みを進めている。また、市内周遊チケットについては観光客の見込み数や観光スポットの魅力など検討すべき課題もあるが、直接的な誘客につながることから実施の可能性を探り、さらなる観光客誘致を図りたい。

増える受給者 平成24年度から 介護保険料値上げ

平成二十四年度から介護保険料が値上げされるが、本市独自の保険料負担軽減への取り組みについて聞く。介護保険料については、三年に一度の見直しを行っており、平成二十四年度から二十六年の三年間では、介護保険給付費等が総額五百六十三億円になると見込まれる。このこ

奨学金 教育格差が拡大 貸与を給付にしては

本市の奨学金制度の貸与状況と収納対策を問う。また、教育格差が広がる中、貸与より給付がよいと考えるが市の見解はどうか。

本市の奨学金制度は、高等学校等に在学し、経済的理由で修学が困難な者に対して学資を貸与しており、貸与額は公立高校で月額一万円、私立高校で月額二万円である。貸与者数は平成二十二年度で八十七人、二十三年度は

二月現在で六十九人となっている。収納率は二十一年九月に80.9%であったが、滞納者に対する文書や電話による督促に加え、戸別訪問による納付指導等を行った結果、二十三年一月には86.9%へと向上しているところだ。



高校の授業風景(明商)

厳しい財政状況 広報紙のリニューアルは必要か

本市の財政状況が厳しい中、広報あかしのページ数を増やしフルカラーに変更することにより、印刷代などの増加が見込まれるが、今、なぜ変更する必要があるのか。

広報あかしは、市政情報の収集源に活用する人が多く、本市の中心的な広報媒体である。しかし、情報量が増加する中、現在の限られた紙面では情報が十分に掲載できず、内容がわかりにくい、掲載できたとしても文字が小さく、読みにくいなどの課題がある。



さらなる市政情報の充実を

弁護士5名を採用 5年間の人件費は2億円 費用対効果に疑問

法律相談は県弁護士協会の弁護士に依頼している。行政改革において職員の人件費を五年間で約三億円削減するが、今回の弁護士5名の採用により五年間で約二億円の人件費の増加が見込まれる。本

市は、弁護士資格を有する任期付職員を五名採用する予定であるが、現在も四名の顧問弁護士が庁内の法律相談を担当し、市民向け

の法律相談は県弁護士協会の弁護士に依頼している。行政改革において職員の人件費を五年間で約三億円削減するが、今回の弁護士5名の採用により五年間で約二億円の人件費の増加が見込まれる。本

今回、法令等遵守担当および相談担当職員として弁護士資格を有する者を採用する予定だ。職員による手当の不正受給等により、市

議決結果(抜すい)

- 〔原案どおり可決された議案〕
▽明石市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定
〔国家公務員に準じた取扱いを基本とする給与の適正化を図るため地域手当の引下げ等を行うほか、再任用職員の給与の見直しを図る〕
- ◎このほか、議案五十四件を可決
〔修正可決された議案〕
▽平成二十四年度一般会計予算
〔中学校給食センター設計委託費ほか二件の総額約一億一千万円を減額〕
〔詳細は十一面〕
- 〔否決された議案〕
▽明石市監査委員条例の一部を改正する条例制定
〔監査体制の充実を図るため監査委員の定数及び常勤監査委員の数を増員〕
◎このほか、議案二件を否決

平成23年 明石市議会の会期および議決議案件数

区分	開会日	閉会日	開議日数	市長提出議案							議員・委員会提出議案		
				条例	予算	決算	契約	人事	その他	計	可決数	修正可決数	提出数
3月定例会	2.25	3.24	5	14	28		8	1	3	54	54	3	2
5月臨時会	5.13	5.13	1					2		2	2		
6月定例会	6.13	6.29	4	9	3		4	2	2	20	20	1	3
9月定例会	9.8	10.17	6	6	6	19	5	2	3	41	41	1	3
12月定例会	11.30	12.16	4	4	7		2		10	23	23	1	1
計			20	33	44	19	19	7	18	140	140	2	9